

2008年10月23日

**プレスリリース**

本資料は10月23日にチュ  
ーリッヒで発表されたプレ  
スリリースの翻訳版です

## クレディ・スイス・グループ 2008年第3四半期業績を発表 13億スイス・フラン (CHF) の純損失

2008年10月16日発表の2008年第3四半期業績予想を確認

プライベート・バンキング部門は好調な業績であり、資産流入を維持。2008年第3四半期の新規純資産145億CHF。ウェルス・マネジメント業務とスイス国内コーポレート&リテール・バンキング業務が大きく貢献

インベストメント・バンキング部門は税引前純損失32億CHFを計上。レバレッジド・ファイナンスとストラクチャード商品の評価損24億CHFおよび9月の極めて厳しいトレーディング環境を反映

モーゲージ市場およびクレジット市場の混乱による影響が最も高い資産に関するリスク・エクスポージャーを継続して減少

インベストメント・バンキング部門のうち、グローバル金利、外国為替、エレクトロニクス・トレーディング、プライム・サービスなどの業務は堅調な業績

クレディ・スイス・グループは、本日、2008年第3四半期業績を発表しました。それによると、10月16日に発表した通り、2008年第3四半期は12億6,100万CHFの純損失を計上しました（前年同期は13億200万CHFの純利益）。2008年第3四半期業績の中核事業業績ベースの純営業収益は31億900万CHFで、前年同期を48%下回りました。

クレディ・スイス・グループ最高経営責任者（CEO）のブレイディ・ドゥーガンは次のように述べています。「金融業界はこの9月に前例のない規模の市場の混乱と異常な市場勢力図の変化に直面し、事業環境、特にインベストメント・バンキング業務をとりまく環境は非常に厳しくなりました。当社のインベストメント・バンキング部門の業績は、レバレッジド・ファイナンスとストラクチャード商品のさらなる評価損、および9月のトレーディング環境が極めて厳しかったことによるその他の損失を反映しています。これが第3四半期の純損失につながりました。厳しい市場環境からすれば理解しうるものですが、明らかに残念な結果です」。

「プライベート・バンキング部門には新規純資産の大幅な流入があり、これは顧客の当社への信頼を示すものです。当社は、プライベート・バンキング部門への投資を継続し、インベストメント・バンキング部門は積極的に改革に取り組み、全体のリスクを低くし、収益源の多様化を進めます。当社は、厳しい市場環境が当面続くと予想し、第4四半期業績についても予断を許さないものと考えています」（ドゥーガン）。

## 決算ハイライト

単位：百万 CHF	2008年 第3四半期	2008年 第2四半期	2007年 第3四半期	2008年第2 四半期からの 増減率（%）	2007年第3 四半期からの 増減率（%）
当期純利益（純損失）	(1,261)	1,215	1,302	-	-
継続事業からの1株当たり希釈化純利益 （CHF）	(1.22)	1.12	1.18	-	-
自己資本収益率	(13.1)%	13.2%	12.4%	-	-
第1分類資本比率（当期末） <sup>1)</sup>	10.4%	10.2%	12.0%	-	-
<b>中核事業<sup>2)</sup></b>					
純営業収益	3,109	7,830	6,020	(60)	(48)
貸倒引当金繰入額	131	45	4	191	-
総営業費用	5,471	6,214	4,733	(12)	16
税引前利益（損失）	(2,493)	1,571	1,283	-	-

<sup>1)</sup> バーゼル II BIS 第1分類資本比率は2008年1月1日から適用。それより前の四半期は、バーゼル I に基づく比率であるため比較不可能

<sup>2)</sup> 中核事業は3事業部門とコーポレート・センターの業務を含む。ただし、大きな経済的利益を有しない少数株主持分に関する収益と費用を除く。

## 部門別業績

### プライベート・バンキング部門

ウェルス・マネジメントとコーポレート&リテール・バンキングからなるプライベート・バンキング部門の2008年第3四半期の税引前利益は7億8,900万CHF、前年同期比39%減でした。

ウェルス・マネジメントの2008年第3四半期の税引前利益は3億8,900万CHFで、前年同期実績を57%下回りました。この業績にはオークションレート証券（ARS）の決済協定にかかる貸倒引当金3億1,000万CHFが含まれています。この貸倒引当金を除く税引前利益は6億9,900万CHFで、前年同期比22%減となりました。純営業収益は前年同期比9%減でしたが、これは経常営業収益、取引ベースの営業収益ともに減少したためです。総営業費用は前年同期比21%増となりましたが、ARSの貸倒引当金を除くと前年同期を若干下回ります。クレディ・スイスは、事業基盤の国際化に向けた戦略的投資を継続しており、その一環として当四半期中にリレーションシップ・マネジャー110名を採用し、専門家チームをさらに強化しました。2008年第3四半期の税引前利益マージンは18.2%ですが、ARS関連貸倒引当金を除くと32.7%となります（前年同期は38.4%）。

コーポレート&リテール・バンキングの2008年第3四半期の税引前利益は4億CHFで、前年同期比3%増でした。純営業収益も好調で、前年同期比3%増でした。前年同期は1,600万CHFの正味取崩額であったのに対して、当四半期中の正味貸倒引当金は1,000万CHFでした。総営業費用は前年同期と同じでした。2008年第3四半期の税引前利益マージンは39.6%（前年同期は39.7%）でした。

### インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門の2007年第3四半期の税引前損益は32億2,500万CHFの損失となりました（前年同期は600万CHFの利益）。純営業収益はマイナス5億1,500万CHFで（前年同期はプラス20億9,700万CHF）、これは、広範に発生した市場の混乱、特に9月の混乱がインベストメント・バンキング部門のほとんどの事業にマイナスの影響を与えたためです。2008年第3四半期の業績には、レバレッジド・ファイナンス、ストラクチャード商品の正味評価損合計額24億2,800万CHFが含まれています。

2008年第3四半期の債券トレーディング収入は、前年同期に比べ大幅に減少しました。これは主に、上記の正味評価損および企業融資業務における損失によるものです。この業績には、クレディ・スイスによる特定金融機関の優先株式とハイブリッド証券への投資の正味評価損およびコモディティ業務における損失が含まれます。グローバル金利業務および外国為替業務は好調な収入をもたらし、当四半期の業績を一部相殺しました。当四半期の株式トレーディング収入は前年同期に比べ大幅に減少しました。これは主に転換社債業務の大幅な損失、クレディ・スイスによるロングショート戦略、イベント戦略、リスクアービトラージュ戦略における大幅な損失、現物株取引業務の業績低迷によるものです。その一部は、プライム・サービスおよびエクイティ・デリバティブの好調な業績により相殺されました。債券と株式のトレーディング業務は、クレディ・スイス社債の信用スプレッド拡大による18億7,600万CHFの時価評価益により利益を受けました。引受およびアドバイザー業務は、市場活動の全体的な落ち込みを反映して、前年同期比減となりました。

### インベストメント・バンキング部門における正味評価額調整とエクスポージャー

2008年第3四半期のレバレッジド・ファイナンス業務とストラクチャード商品業務における正味評価損は合計24億2,800万CHFでした。

#### 正味評価額調整

(単位：百万 CHF)	2008年	2008年	2007年
	第3四半期	第2四半期	第3四半期
レバレッジド・ファイナンス	(870)	(86)	(658)
商業用モーゲージ担保証券 (CMBS)	(1,006)	(477)	(193)
住宅用モーゲージ担保証券 (RMBS) および 債務担保証券 (CDO)	(552)	541	(368)
<b>合計</b>	<b>(2,428)</b>	<b>(22)</b>	<b>(1,219)</b>

#### リスク・エクスポージャー

(単位：十億 CHF)	2008年第3	2008年第2	2007年第3	2008年第2	2007年第3
	四半期末	四半期末	四半末	四半期からの 増減率 (%)	四半期からの 増減率 (%)
レバレッジド・ファイナンス	11.9	14.3	59.2	(17)	(80)
商業用モーゲージ	12.8	15.0	35.9	(15)	(64)
住宅用モーゲージおよび サブプライム CDO	6.8	6.5	16.2	5	(58)

### アセット・マネジメント部門

アセット・マネジメント部門の2008年第3四半期の税引前損益は5,800万CHFの損失の計上となりました（前年同期は4,500万CHFの税引前利益）。この損失は、プライベート・エクイティとその他投資関連商品の損失1億900万CHFおよび当社マネー・マーケット・ファンド取得有価証券の正味評価差損3,600万CHFの計上によるものです。純営業収益は前年同

期比 24%減ですが、上記のプライベート・エクイティとその他投資関連損失および取得有価証券正味評価差損の影響を反映する前の当四半期営業収益は前年同期比 12%減です。総営業費用は前年同期比 7%減で、これは従業員報酬および諸手当給付の増加が一般管理費の減少によって相殺されたためです。2008 年第 3 四半期の税引前利益マージンはマイナス 12.8% (前年同期はプラス 7.6%) でした。上記取得証券の当社貸借対照表上の時価は 2008 年第 3 四半期末現在 10 億 CHF で 2008 年第 2 四半期末に比べ 33%減少しました。

#### 部門別業績

単位：百万 CHF		2008 年 第 3 四半期	2008 年 第 2 四半期	2007 年 第 3 四半期	2008 年第 2 四半期からの 増減 (%)	2007 年第 3 四半期からの 増減 (%)
プライベート・ バンキング	純営業収益	3,148	3,265	3,325	(4)	(5)
	貸倒引当金繰入額	13	(5)	(17)	-	-
	総営業費用	2,346	2,050	2,053	14	14
	税引前利益	789	1,220	1,289	(35)	(39)
インベストメント・ バンキング	純営業収益	(515)	3,740	2,097	-	-
	貸倒引当金繰入額	119	50	20	138	495
	総営業費用	2,591	3,409	2,071	(24)	25
	税引前利益 (損失)	(3,225)	281	6	-	-
アセット・ マネジメント	純営業収益	453	739	594	(39)	(24)
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	-	--
	総営業費用	511	572	549	(11)	(7)
	税引前利益 (損失)	(58)	167	45	-	-

#### 新規純資産

プライベート・バンキング部門が 2008 年第 3 四半期に獲得した新規純資産は 145 億 CHF (ウェルス・マネジメントが獲得した新規純資産 113 億 CHF を含む) で、これは四半期平均成長率換算ベースで 6.2%に相当し、主として欧州・中東・アフリカ (EMEA) 地域、米州地域、アジア太平洋地域からの資産流入によるものです。アセット・マネジメント部門の 2008 年第 3 四半期の新規純資産は 165 億 CHF の正味資産流出となりました。これはオルタナティブ投資への 22 億 CHF の資産流入が、その他の資産クラスにおける資産流出によって相殺されたためです。グループ全体の運用資産総額は 2008 年 9 月 30 日現在 1 兆 3,700 億 CHF で、2007 年 9 月 30 日現在の実績を 12.8%下回りました。これは主に外国為替と市場動向が不利に作用したためです。

#### 統合ビジネス・モデルの利点

2008 年第 3 四半期に、クレディ・スイスは、部門横断的な協調体制を通じて 15 億 CHF の営業収益を上げました。2008 年 1-9 月期通算では 40 億 CHF に達しています。

#### 本件に関するお問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーションズ

梶野 勇

Tel : 03-4550-9893

Email : isamu.kajino@credit-suisse.com

### クレディ・スイスについて

クレディ・スイスは、世界有数の銀行として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開し、アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイスは、世界50ヶ国以上に拠点を持ち、約50,000人の従業員を有しています。クレディ・スイスは世界各地にある複数の事業法人で構成され、本拠地はチューリッヒにあります。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式 (CSGN) はスイスで上場され、米国預託証券 (CS) としてニューヨークでも上場しています。

### Cautionary statement regarding forward-looking information and non-GAAP information

This press release contains statements that constitute forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act. In addition, in the future we, and others on our behalf, may make statements that constitute forward-looking statements. Such forward-looking statements may include, without limitation, statements relating to the following:

- our plans, objectives or goals;
- our future economic performance or prospects;
- the potential effect on our future performance of certain contingencies; and
- assumptions underlying any such statements.

Words such as “believes,” “anticipates,” “expects,” “intends” and “plans” and similar expressions are intended to identify forward-looking statements but are not the exclusive means of identifying such statements. We do not intend to update these forward-looking statements except as may be required by applicable securities laws. By their very nature, forward-looking statements involve inherent risks and uncertainties, both general and specific, and risks exist that predictions, forecasts, projections and other outcomes described or implied in forward-looking statements will not be achieved. We caution you that a number of important factors could cause results to differ materially from the plans, objectives, expectations, estimates and intentions expressed in such forward-looking statements. These factors include:

- the ability to maintain sufficient liquidity and access capital markets;
- market and interest rate fluctuations;
- the strength of the global economy in general and the strength of the economies of the countries in which we conduct our operations, in particular the risk of a continued US or global economic downturn in 2008 and beyond;
- the direct and indirect impacts of continuing deterioration of subprime and other real estate markets;
- further adverse rating actions by credit rating agencies in respect of structured credit products or other credit-related exposures or of monoline insurers;
- the ability of counterparties to meet their obligations to us;
- the effects of, and changes in, fiscal, monetary, trade and tax policies, and currency fluctuations;
- political and social developments, including war, civil unrest or terrorist activity;
- the possibility of foreign exchange controls, expropriation, nationalization or confiscation of assets in countries in which we conduct our operations;
- operational factors such as systems failure, human error, or the failure to implement procedures properly;
- actions taken by regulators with respect to our business and practices in one or more of the countries in which we conduct our operations;
- the effects of changes in laws, regulations or accounting policies or practices;
- competition in geographic and business areas in which we conduct our operations;
- the ability to retain and recruit qualified personnel;
- the ability to maintain our reputation and promote our brand;
- the ability to increase market share and control expenses;
- technological changes;
- the timely development and acceptance of our new products and services and the perceived overall value of these products and services by users;
- acquisitions, including the ability to integrate acquired businesses successfully, and divestitures, including the ability to sell non-core assets;
- the adverse resolution of litigation and other contingencies; and
- our success at managing the risks involved in the foregoing.

We caution you that the foregoing list of important factors is not exclusive. When evaluating forward-looking statements, you should carefully consider the foregoing factors and other uncertainties and events, as well as the information set forth in our Form 20-F Item 3 – Key Information – Risk Factors.

This press release contains non-GAAP financial information. Information needed to reconcile such non-GAAP financial information to the most directly comparable measures under GAAP can be found in the Credit Suisse Financial Report 2008.